

授業科目名	開講 年次	開講 期間	単位数	授業 形態
がん看護学実習Ⅳ(統合実習)	2	前期	4	実習 180時間
担当教員	岡本明美、千葉恵子			
授業概要	がん看護学特論Ⅰ～Ⅴおよびがん看護学演習Ⅰ・Ⅱで学んだこととがん看護学実習Ⅰ～Ⅲを統合し、複雑で対応困難な問題を持つがん患者の医学アセスメントおよび患者とその家族の包括的アセスメント、直接的支援、多職種との連携、病棟看護師へのコンサルテーションや教育活動などを実践し、専門看護師として活動するための実践力を養う。また、実施した活動を内省し、がん看護専門看護師として活躍する上での課題を探究する。			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 複雑で対応困難な問題を持つがん患者の医学的アセスメントができる。</li> <li>2. 複雑で対応困難な問題を持つがん患者とその家族を包括的にアセスメントすることができる。</li> <li>3. 問題を解決するための具体的な援助計画を立案することができる。</li> <li>4. 立案した援助計画を実施し、専門看護師の役割・機能に照らし合わせながら科学的に評価することができる。</li> <li>5. がん患者とその家族が抱える問題を解決するために、多職種と連携することができる。</li> <li>6. 病棟看護師に対するコンサルテーションができる。</li> <li>7. 患者・家族が直面する倫理的課題を調整することができる。</li> <li>8. 病棟の看護の質向上に寄与する教育を企画実践することができる。</li> </ol>			
履修条件	がん看護学特論Ⅰ～Ⅴおよびがん看護学演習Ⅰ・Ⅱを修得していること。			
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 実習内容 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 複雑で対応困難な問題を持つがん患者とその家族への直接的支援(3週間) <ul style="list-style-type: none"> <li>・医学的アセスメント</li> <li>・包括的アセスメント</li> <li>・援助計画立案・実施・評価</li> </ul> </li> <li>2) がん看護専門看護師としての役割実践(1週間) <ul style="list-style-type: none"> <li>・病棟看護師に対するコンサルテーション</li> <li>・患者・家族が抱える倫理的課題の調整</li> <li>・臨床看護師への研究指導</li> <li>・多職種との連携や調整</li> <li>・病棟の看護の質向上を目指した学習会の企画・実施 など</li> </ul> </li> </ol> </li> <li>2 実習方法 <ul style="list-style-type: none"> <li>・複雑で対応困難な問題を持つがん患者を2名以上受け持ち、ケアを提供する。</li> <li>・受け持ち患者の医学的アセスメントについて担当医と討議する。</li> <li>・対象への看護やモデルの評価・修正を行うための事例検討会を定期的開催する。</li> <li>・患者への直接的ケアを実施した病棟で働く看護師に対して、専門看護師としての役割を実践する。実践計画は臨床指導者や教員および多職種からの助言を受けながら作成し、コンサルテーション、倫理調整、研究指導、調整、教育活動のうち1つを行う。</li> <li>・実施した内容を評価し、レポートを作成する。</li> <li>・実習を通してがん看護専門看護師として活躍する上での課題について考察し、レポートを作成する。</li> <li>・中間カンファレンスと終了カンファレンスを計画し実施する。</li> </ul> </li> <li>3 実習施設 <ul style="list-style-type: none"> <li>亀田総合病院</li> <li>順天堂大学医学部附属順天堂医院</li> </ul> </li> <li>4 実習時期と期間 <ul style="list-style-type: none"> <li>2年次前期～後期 4週間</li> </ul> </li> </ol>			
教科書	なし			
参考書	がん看護学特論Ⅰ～Ⅴおよびがん看護学演習Ⅰ・Ⅱで使用した文献 その他、適宜紹介する。			
評価方法・基準	実習でスーパービジョンを受けたがん看護専門看護師による評価(10%)、カンファレンス内容(20%)、最終レポート(70%)を総合して評価する			
事前・事後学習	事前学習：目標達成のためにふさわしい実習施設を選び、受け入れの打診をする。実習計画書を作成する。今までの学修内容を確認し、実習における課題を明確にする。 事後学習：実習記録およびレポートを作成する。			
備考	実習場所：亀田総合病院、 順天堂大学医学部附属順天堂医院			